

岡山県スポーツ推進計画の進捗状況について

(平成29年度実績 施策別評価シート)

平成29年度 スポーツ推進計画施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	I ライフステージに応じた運動・スポーツ活動の推進	施策の方向性	県民の豊かなスポーツライフの構築
施策名	1 子どもの運動・スポーツ活動の推進 (1) 幼児期の運動遊び等の推進	部課室名	保健福祉部子ども未来課 教育庁保健体育課

2 課室施策評価

(1) 推進計画における数値目標

(基本施策名)	施策目標	・幼児期からの運動遊びに親しむ習慣の取得や体力の向上							
	数値目標	指標名	該当無し	年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
		策定時		目標値					
		指標の説明		実績値					

(2) 成果及び課題

成果	・幼児の外遊び、運動遊び、リズム遊びなどを行うおかやま地域子育て支援拠点の県民への認知度の向上や情報発信を行った。 ・おかやま地域子育て支援拠点の従事者を対象とした研修を実施し、従事者の育成、質の向上を図った。 ・外遊び（プレイパーク）を含めたおかやま地域子育て支援拠点数を増やすなど、幼児期からの運動遊びが行われるよう努めた。 ・幼稚園教諭に対し運動遊びの内容や指導方法についての研修を実施した後に伝達を受けた教員全員が、講習会の内容を実践することができおり、幼稚園教育の内容の充実に活かされている。
課題	・従事者の更なる質の向上を図る必要がある。 ・新教育要領に対応した内容を含める等の研修内容の充実に図り、研修を踏まえた現場での実践状況を確認していく必要がある。

3 各課における評価

番号		部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価				
1	子ども未来課	事業内容	・看板やのぼり、県HP等で、おかやま地域子育て支援拠点を紹介した。 ・おかやま地域子育て支援拠点の従事者を対象とした研修を開催した。				
		成果・課題	(成果) ・研修修了者: 136名(H29年度) (課題) ・今後とも、おかやま地域子育て支援拠点をPRするとともに、研修等の実施により従事者の質の向上を図っていく必要がある。	評価	H25年度	3.0	
					H26年度	3.0	
					H27年度	3.0	
					H28年度	3.0	
					H29年度	3.0	
2	保健体育課	事業内容	・幼稚園教諭に対し運動遊びの内容や指導方法についての研修実施				
		成果・課題	(成果) ・幼稚園教諭を対象(11支部・86名)に、幼稚園・こども園運動遊び指導者講習会において、リズム遊び(H29)(集団遊び(H28)、用具を使った遊び(H27)、リズム遊び(H26))を中心とした内容を指導し、講習会参加者が、各支部で伝達講習会を行うことにより、県内幼稚園教員の指導力向上を図った。 ・研修終了後に、伝達を受けた教員全員が、講習会の内容を実践することができおり、幼稚園教育の内容の充実に活かされている。(アンケート調査) (課題) ・新教育要領に対応した内容を含める等の研修内容の充実に図り、研修を踏まえた現場での実践状況を確認していく必要がある。 ・運動の習慣化、体力の向上を図る取組である「みんなでチャレンジランキング」への参加幼稚園数が伸び悩んでおり、幼稚園、こども園、保育園への周知が課題である。(参加園数 H26:11園、H27:15園、H28:13園、H29:12園)	評価	H25年度	3.0	
					H26年度	3.0	
					H27年度	3.0	
					H28年度	3.0	
					H29年度	3.0	

4 総合評価

総合評価	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0

平成29年度 スポーツ推進計画施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	I ライフステージに応じた運動・スポーツ活動の推進	施策の方向性	県民の豊かなスポーツライフの構築
施策名	1 子どもの運動・スポーツ活動の推進 (2) 青少年期のスポーツ活動の推進	部課室名	環境文化部スポーツ振興課

2 課室施策評価

(1) 推進計画における数値目標

(基本施策名)	施策目標	・運動習慣が身に付いていない又はスポーツが苦手な子どもを運動好きにするためのきっかけづくり							
	数値目標	指標名	該当なし	年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	数値目標	策定時		目標値					
		指標の説明		実績値					

(2) 成果及び課題

成果	・小中学生や高校生が参加する「県民応援デー」の実施や、小中学校、高校へのトップアスリートの派遣による技術指導等により、トップアスリートとの交流の機会等を提供し、青少年のスポーツを「する・みる・支える」のきっかけづくりにつながった。
課題	・総合型地域スポーツクラブと学校運動部活動の連携が一層進展するような取組が必要である。また、地域のことを把握しているスポーツ推進委員との連携強化も必要である。

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価				
1	スポーツ振興課	事業内容	・総合型地域スポーツクラブ関係者や市町村担当者等を対象に地域スポーツ推進研修会を開催する。 ・トップクラブチームの試合において「県民応援デー」を開催し、青少年の「する・みる・支える」というスポーツ活動参加へのきっかけづくりを推進するとともに、小中学校、高校等にトップアスリートを派遣し、トップアスリートとの交流の機会を提供する。			
		成果・課題	(成果) ・地域スポーツ推進研修会を開催し、青少年の指導・育成を行う地域のスポーツ指導者と市町村行政との意見交換や繋がりを作る機会となった。 ・総合型地域スポーツクラブが、高校生や中学生がスポーツに親しむ場となっている。 ・小中学生や高校生が参加する「県民応援デー」の実施により、青少年がスポーツを「する」「みる」「ささえる」きっかけづくりにつながった。 ・小中学校、高校にトップアスリートを派遣し、技術指導を行うなど、トップアスリートとの交流の機会の提供が推進できた。 (課題) ・総合型地域スポーツクラブと学校運動部活動の連携が一層進展するような取組が必要である。また、地域のことを把握しているスポーツ推進委員との連携強化も必要である。	評価	H25年度	4.0
					H26年度	4.0
					H27年度	4.0
					H28年度	4.0
					H29年度	4.0

4 総合評価

総合評価	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0

平成29年度 スポーツ推進計画施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	1 ライフステージに応じた運動・スポーツ活動の推進	施策の方向性	県民の豊かなスポーツライフの構築
施策名	2 成年期の運動・スポーツ活動の推進	部課室名	環境文化部スポーツ振興課 保健福祉部健康推進課 保健福祉部長寿社会課 土木部都市計画課 教育庁保健体育課

2 課室施策評価

(1) 推進計画における数値目標

(基本施策名)	施策目標	- 運動不足になりがちな働き盛り世代のスポーツ実施率の向上 - 高齢者にも気軽にできる運動・スポーツの普及								
	数値目標	指標名	成人男女の1週間に1日以上運動・スポーツを実施する割合	年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	(参考) 32年度
	策定時	策定時	平成22年度49%	目標値				55%		52.0%
		指標の説明	文部科学省が実施している体力・運動能力調査による	実績値	51.0%	47.7%	49.5%	49.1%	50.3%	

(2) 成果及び課題

成果	- 平成29年11月12日に開催した「おかやまマラソン2017」では、全国から参加された16,000人のランナー、大会を支えた5,000人のボランティア、16万人もの応援者など、「走る」「みる」「支える」人々が一体となり、大きな盛り上がりとなるなど、地域に定着しつつある。 - ホームページやリーフレットを通じたニュースポーツや運動の実践方法等の啓発、ねんりんピックへの選手の派遣等により、働き盛り世代のスポーツ実施率の向上や高齢者の運動・スポーツの普及を図るとともに、県民の健康保持増進に取り組んだ。 - 健康運動指導士などを各地域に派遣し、筋力低下を抑える「簡単筋力アップ運動実践教室」の開催や、スポーツの体験教室やクラブ・サークル情報、県内スポーツイベント情報を提供するホームページ「おかやまスポーツナビ」を展開した。 - 県のスポーツ施設の指定管理者と連携し、県民の利便性やサービスの向上に取り組んだ。 - 公立学校の体育施設の開放率は国の平均を上回っており、多くの県民に有効活用されている。
課題	- ニュースポーツなどの軽運動をさらに普及させるため、よりわかりやすい情報提供を検討する必要がある。 - 気軽に運動・スポーツに取り組める環境整備や簡単に行える健康・体力づくりを一層推進するため、「簡単筋力アップ運動実践教室」や「スポーツニーズ・マッチング事業」の実施にあたり、充実した内容となるよう、工夫・改善等に努める。 - 公立学校の体育施設の開放率は、全国平均を上回っているものの、活用されていない施設の現状を分析し、さらに多くの県民が活用できるよう検討を行う。

3 各課における評価

番号		部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価						
1	スポーツ振興課	事業内容	・気軽に運動・スポーツに取り組める環境整備や簡単に行える健康・体力づくりを推進するため、保健福祉部局と連携し、総合型地域スポーツクラブを活用した事業またはスポーツ推進委員を活用した事業を検討する。 ・多様化する住民ニーズに、より効果的、効率的に対応し、住民サービスの向上や経費の節減等を図るため、各施設(岡山武道館、美作ラグビー・サッカー場、岡山県津山陸上競技場、津山総合体育館、津山東体育館、笠岡陸上競技場、備前テニスセンター)の指定管理者が施設の管理運営を実施する。			評 価	H25年度	3.0	
							H26年度	3.0	
		成果・課題	(成果) ・健康運動指導士などを各地域に派遣し、筋力低下を抑える「簡単筋力アップ運動実践教室」の開催や、スポーツの体験教室やクラブ・サークル情報、県内スポーツイベント情報を提供するホームページ「おかやまスポーツナビ」を運営している。 ・指定管理者に対し、利用者のニーズに応じたサービス向上の取り組みを依頼するなど、指定管理者との連携を深め、利便性向上に努めた。 (課題) ・気軽に運動・スポーツに取り組める環境整備や簡単に行える健康・体力づくりを一層推進するため、効果的・効果的なものとなるよう工夫を重ねる必要がある。				H27年度	3.0	
							H28年度	4.0	
							H29年度	4.0	

2	スポーツ振興課 (マラソン)	事業内容	・おかやまマラソンについて、大会の開催を通じて、県民の健康と体力の増進、地域の活力向上や一体感の醸成を図るとともに、本県の情報発信や、地域経済の活性化など地域振興にも繋げる。また、スタンプラリーなどの取組を通じて、県内他大会と連携し、県内全体のマラソン大会の盛り上げを図る。				
		成果・課題	(成果) ・おかやまマラソン2017では、「走る」「みる」「支える」人々が一体となり、地域に元気と感動をもたらす大会として定着してきた。経済効果についても、2016大会と同額の14.7億円であったと推計した。また、おかやまマラソンを契機に、県内他大会でも参加者が増加傾向にあるなど、県内全体でマラソンブームが広がっている。 (課題) ・おかやまマラソンについては、第3回大会の課題を踏まえた見直しを行いつつ、第4回大会の準備を進める。	評価	H25年度	3.0	
					H26年度	3.0	
					H27年度	3.0	
					H28年度	4.0	
					H29年度	4.0	
3	健康推進課	事業内容	「健康おかやま21推進会議」の開催や関係機関・関係団体との連携による県民の健康づくりの推進 ・県民の身体活動の促進や運動習慣の定着に向けた普及・啓発 ・岡山県南部健康づくりセンターにおける健康増進指導(運動指導、栄養講座等) ・岡山県南部健康づくりセンターによる健康づくりの普及・啓発				
		成果・課題	(成果) ・県民健康調査の結果、歩かない人の増加や運動習慣者の割合が減少するなどの課題が明らかになり、県の健康増進計画「第2次健康おかやま21」を見直した。 ・「健康おかやま21推進会議」を開催し、取組状況報告や意見交換を行い、関係機関・関係団体等の連携強化を図った。 ・岡山県南部健康づくりセンターについて、指定管理者と連携し、利用者の利便性の向上などに取り組んだ。 (課題) ・運動習慣のない人に対して、プラス10分体を動かすことや、もう1,000歩歩くことを健康づくりボランティア等と連携し、啓発していく必要がある。	評価	H25年度	3.0	
					H26年度	3.0	
					H27年度	3.0	
					H28年度	3.0	
					H29年度	3.0	
4	長寿社会課	事業内容	・全国健康福祉祭(ねんりんピック)への選手団の派遣 ・地域活動参加のための情報提供及び相談対応 ・ニュースポーツの普及及び用具の貸出等				
		成果・課題	(成果) ・全国健康福祉祭(ねんりんピック)へ県選手団を派遣し、高齢者の健康の保持・増進、社会参加、生きがいの高揚等を図ることができた。 ・ニュースポーツの普及及び用具の貸出をすることで、高齢者の健康と生きがいづくり、地域参加への一助となった。	評価	H25年度	3.0	
					H26年度	3.0	
					H27年度	3.0	
					H28年度	3.0	
					H29年度	3.0	
5	都市計画課	事業内容	指定管理者は包括協定に基づき、アンケートを実施するなど利用者のニーズを把握し、ニーズにあった運営を実施する。				
		成果・課題	(成果) 指定管理者と連携をしながら、利用者からのアンケートを実施するなどサービス向上を行った。	評価	H25年度	3.0	
					H26年度	3.0	
					H27年度	3.0	
					H28年度	3.0	
					H29年度	3.0	
6	保健体育課	事業内容	・地域におけるスポーツ活動の拠点として学校開放事業を推進する。				
		成果・課題	(成果) ・公立学校の体育施設の開放率は国の平均を上回っており、多くの県民に有効活用されている。 H27年度開放状況 屋外運動場78%(75%)、体育館89%(82%)、武道場59%(40%) H28年度開放状況 屋外運動場78%(75%)、体育館90%(82%)、武道場59%(40%) ※()は全国平均 ※H28学校体育施設設置等状況調査 (課題) ・公立学校の体育施設の開放率は、全国平均を上回っているものの、活用されていない施設の現状を分析し、さらに多くの県民が活用できるように検討を行う。	評価	H25年度	3.0	
					H26年度	4.0	
					H27年度	4.0	
					H28年度	3.0	
					H29年度	3.0	

4 総合評価

総合評価	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	3.0	3.2	3.2	3.3	3.3

平成29年度 スポーツ推進計画施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	I ライフステージに応じた運動・スポーツ活動の推進	施策の方向性	県民の豊かなスポーツライフの構築
施策名	3 障害のある人の運動・スポーツ活動の推進 (1) 障害者スポーツへの理解と参加機会の確保	部課室名	保健福祉部障害福祉課

2 課室施策評価

(1) 推進計画における数値目標

(基本施策名)	施策目標	・障害のある人のスポーツに参加することができる機会の確保 ・障害者スポーツに対する理解の促進								
	数値目標	指標名	障害者スポーツ教室等への参加者数	年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	(参考) 34年度
	指標の説明	現況値	平成23年度 821人	目標値				1,000		1,200
		実績値	障害者スポーツ教室等への参加者数		1,130	1,180	1,144	1,105	1,146	

(2) 成果及び課題

成果	・「第17回岡山県障害者スポーツ大会」は、個人競技6競技、団体競技5競技、公開競技3競技、計14競技を県内各地で実施し、個人競技では1,516人、団体競技では159人、公開競技では376人、延べ2,051人の参加があった。 ・障害者スポーツ教室を24競技74回開催し、1,146名の参加があった。このうち、地域の障害のある人の便宜を図るため、県北での開催も5競技5回行った。 ・岡山県障害者スポーツ協会では、機関誌「岡山県障害者スポーツ協会だより」を年2回発行し、障害者スポーツに関する情報提供を行った。また、視覚障害者のためにカセットテープ版、デージー版も作成し希望者に配布した。
課題	・障害のある人の障害の種類や程度、興味などに応じたスポーツに気軽に楽しめる機会や競技力の向上を図る場の提供に努める必要がある。

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価				
1	障害福祉課	事業内容	・「岡山県障害者スポーツ大会」の開催 ・「岡山県障害者スポーツ教室」の開催 ・ホームページによる情報提供及び機関誌「岡山県障害者スポーツ協会だより」の発行（岡山県障害者スポーツ協会）			
		成果・課題	評価	H25年度	3.0	
				H26年度	3.0	
				H27年度	3.0	
				H28年度	3.0	
				H29年度	3.0	

4 総合評価

総合評価	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0

平成29年度 スポーツ推進計画施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	I ライフステージに応じた運動・スポーツ活動の推進	施策の方向性	県民の豊かなスポーツライフの構築
施策名	3 障害のある人の運動・スポーツ活動の推進 (2) 障害者スポーツの指導者やボランティア養成及び資質の向上	部課室名	保健福祉部障害福祉課

2 課室施策評価

(1) 推進計画における数値目標

(基本施策名)

施策目標	・専門的な知識や指導技術を有し、地域での活動の中心的な役割を担うスポーツ指導者の養成 ・障害者スポーツに関する関心を高め、ボランティア活動への参加を促進							
数値目標	指標名	初級・中級・上級障害者スポーツ指導員の人数	年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	策定時	平成23年度 337人	目標値				450	
	指標の説明	初級・中級・上級障害者スポーツ指導員数	実績値	309	314	340	352	365

(2) 成果及び課題

成果	- 岡山県障害者スポーツ指導員（初級）養成講習会を延べ4日間開催し、受講を修了した13人が日本障がい者スポーツ協会に指導員（初級）の登録申請を行った。 - また、日本障がい者スポーツ協会等が実施する5つの指導者養成講習会に延べ6人を派遣し、指導者の指導技術の向上を図った。 - ボランティア活動について、「第17回岡山県障害者スポーツ大会」では、学生ボランティア527人、係員ボランティア195人の参加があった。
課題	養成された指導員の再登録及び活用の促進

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価				
1	障害福祉課	事業内容	- 岡山県障害者スポーツ指導員（初級）養成講習会の開催 - 障害者スポーツ指導者養成講習会等への派遣 「岡山県障害者スポーツ大会」の開催			
		成果・課題	(成果) ・岡山県障害者スポーツ指導員（初級）養成講習会を延べ4日間開催し、受講を修了した13人が日本障がい者スポーツ協会に指導員（初級）の登録申請を行った。 また、日本障がい者スポーツ協会等が実施する5つの指導者養成講習会に延べ6人を派遣し、指導者の指導技術の向上を図った。 ・ボランティア活動について、「第17回岡山県障害者スポーツ大会」では、学生ボランティア527人、係員ボランティア195人の参加があった。 (課題) ・養成された指導員の再登録及び活用の促進が課題。	評価	H25年度	3.0
					H26年度	3.0
					H27年度	3.0
					H28年度	3.0
					H29年度	3.0

4 総合評価

総合評価	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0

平成29年度 スポーツ推進計画施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	Ⅱ 競技スポーツの推進	施策の方向性	未来へ羽ばたくアスリートの育成・支援
施策名	1 アスリートの強化体制 (1) アスリートの育成	部課室名	環境文化部スポーツ振興課 教育庁保健体育課

2 課室施策評価

(1) 推進計画における数値目標

(基本施策名)	施策目標	・「心・技・体＋知」を備えたアスリートの育成 ・平成28年度地元開催のインターハイで好成績を獲得 ・次世代で活躍するアスリートの発掘と育成 ・地域のスポーツ活動と競技スポーツの連携強化								
	数値目標	指標名	国民体育大会における天皇杯順位	年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	(参考) 32年度
		策定時	平成24年度 13位	目標値	10位台	10位台	10位台	10位台	10位台	10位台
		指標の説明	「国民体育大会における天皇杯順位」は、本県の人口規模（全国第21位「平成22年度国勢調査」）からみると高い目標ですが、岡山国体以降の成績も勘案し、設定しています。	実績値	16位	13位	11位	15位	16位	
	数値目標	指標名	全国高校総合体育大会の入賞数	年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	(参考) 32年度
		策定時	平成24年度 58	目標値				90台		60台
		指標の説明	全国高等学校総合体育大会の8位以内の数で、平成28年度の数値目標は、本県を主会場に高校総体が開催されることもあり、過去最高値と同程度の数値としています。	実績値	53	48	63	84	56	
	数値目標	指標名	岡山ゆかりのアスリートの国際大会出場者数	年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
		策定時	平成22年度 56人	目標値	120人	180人	240人	300人	360人	
		指標の説明	「岡山ゆかりのアスリートの国際大会出場者数」の平成28年度目標数値は、第3次おかやま夢づくりプランに掲げた数値としています。	実績値	121人	208人	286人	377人	473人	

(2) 成果及び課題

成果	・国体へは682名の選手団を派遣し、天皇杯順位16位の成果を残すことができた。各競技団体とともに、効果的な練習を行っており、クレール射撃競技、馬術競技など7競技で競技別天皇杯入賞を果たした。 ・強化遠征・合同練習会・トップコーチ招聘を行うことにより、選手の競技力の向上だけでなく、指導者のレベルアップも図られた。また、選手発掘が課題となっている競技団体においては、小中学生を対象とした競技体験会を開催している。 ・全国高校総体の8位入賞数は、地元で開催された、前年度の実績に届かなかったものの、計画的・継続的な選手強化により56の入賞数を獲得した。 ・H28インターハイの強化を目標とする「インターハイ強化委員会」を「中・高校生選手強化委員会」に変更し、引き続き中高生の競技力向上を目的として、今後も継続し、関係団体と連携しながら強化を図ることとした。
課題	・国体では、競技得点の大きい団体種目の強化、新たに取り入れられた6競技（オープンウォーター男女、ボクシング女子、レスリング女子、ウエイトリフティング女子、自転車女子、ラグビー女子）への対応が課題である。特に新たに取り入れられた6競技については、入賞がウエイトリフティング女子の7位のみであった。全国的に見ても選手層が薄く、選手育成環境も整っていないのが現状であり、普及から強化まで新たな対策が必要である。 ・選手強化について、国が示すガイドラインの内容を遵守しつつ、効果的、効率的な選手強化の方策を研究し、関係団体と連携しながら、実践していく必要がある。

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価				
1	スポーツ振興課	事業内容	・恒常的に全国上位の競技力を維持するために、ジュニア年代からの一貫指導体制の中で、系統的・継続的強化に取り組む必要があり、各競技の各年代ごとの県内トップレベルの選手を系統的に育成し、成年までつなげる競技力の向上を図る。 ・昨年度から競技体験会を実施し、選手発掘の機会を提供すると共に、各競技団体から選抜された中学生に対し、各学年の競技レベルや発育・発達段階に応じた最適なプログラムを提供する。			
			成果・課題	評価	H25年度	4.0
		H26年度			5.0	
		H27年度			5.0	
		H28年度			4.0	
		H29年度			4.0	
		(成果) ・各競技団体ともに、効果的な練習ができているが、競技者の確保が困難な競技も増えつつあり、指導者の世代交代とともに、将来に向けた対策を講じていかなければならない。また、小学生や中学生の活動も定着し、小中あるいは中高が連携した取り組みも増えてきている。 (課題) ・事業が定着して効果的に進めることができているが、効果の検証は単年では困難なことから、継続的なデータの蓄積が不可欠である。				
2	保健体育課	事業内容	・平成28年度全国高校総体に向けて、中体連・高体連と連携した選手強化の実施			
			成果・課題	評価	H25年度	2.0
		H26年度			3.0	
		H27年度			3.0	
		H28年度			3.0	
		H29年度			2.0	
		(成果) ・全国高校総体の8位入賞数は、地元で開催された、前年度の実績に届かなかったものの、計画的・継続的な選手強化により、多くの入賞数を獲得することができた。 全国高校総体8位入賞数 56(84) ※()は、H28年度 ・H28インターハイの強化を目標とする「インターハイ強化委員会」を「中・高校生選手強化委員会」に変更し、引き続き中高生の競技力向上を目的として、今後も継続し、関係団体と連携しながら強化を図ることとした。 (課題) ・選手強化について、国が示すガイドラインの内容を遵守しつつ、効果的、効率的な選手強化の方策を研究し、関係団体と連携しながら、実践していく必要がある。				

4 総合評価

総合評価	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	3.0	4.0	4.0	3.5	3.0

平成29年度 スポーツ推進計画施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	Ⅱ 競技スポーツの推進	施策の方向性	未来へ羽ばたくアスリートの育成・支援
施策名	1 アスリートの強化体制 (2) 一貫指導体制の強化・充実	部課室名	環境文化部スポーツ振興課

2 課室施策評価

(1) 推進計画における数値目標

(基本施策名)	施策目標	・ 発育・発達段階に応じた競技者育成プログラムの活用と充実 ・ 一貫指導を基盤とする「発掘→育成→強化」の体制強化						
	指標名	該当なし	年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	策定時		目標値					
	指標の説明		実績値					

(2) 成果及び課題

成果	・ 中央競技団体の合宿や海外の現場研修へ、9競技18名の強化指定指導者を派遣し（オリンピック育成事業）、選手育成環境整備に努めた。 （※オリンピック強化指定選手25名のうち日本代表4名 日本代表候補1名 U代表7名 国際大会出場19名）
課題	・ 平成17年の岡山国体から12年が経過し、指導者の世代交代期を迎えている競技団体も多く、各競技団体次の時代を担う指導者の育成が急務であり、また、その研修内容についても検討が必要である。

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価				
1	スポーツ振興課	事業内容	・ 将来、オリンピックをはじめ、国際大会で活躍する選手の育成が期待される県内トップレベルの指導者に対し、高度な指導方法と知識を得る機会を提供する。 ・ 次世代を担う若手の指導者が、指導力及び資質向上のために研修する機会を提供する。			
		成果・課題	(成果) ・ 現地での研修や指導者研修会では、世界で戦い抜く指導方法を学ぶことができ、充実した内容であった。	評価	H25年度	3.0
					H26年度	3.0
					H27年度	4.0
					H28年度	4.0
					H29年度	4.0

4 総合評価

総合評価	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	3.0	3.0	4.0	4.0	4.0

平成29年度 スポーツ推進計画施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	Ⅱ 競技スポーツの推進	施策の方向性	未来へ羽ばたくアスリートの育成・支援
施策名	1 アスリートの強化体制 (3) 医・科学サポートの充実	部課室名	環境文化部スポーツ振興課

2 課室施策評価

(1) 推進計画における数値目標

(基本施策名)	施策目標	- 科学的なトレーニングの導入と活用 - 競技力強化につながる医・科学サポート体制の確立							
	数値目標	指標名	該当なし	年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
		策定時		目標値					
		指標の説明		実績値					

(2) 成果及び課題

成果	・オリンピック育成事業の中で、指定選手のコンディショニングやサプリメントに関する補助など、医・科学サポートを進めている。
課題	・個別対応事例などを整理しながら、県と県体協医・科学委員会で一体となった医・科学サポート体制が確立できるよう研究を重ねていきたい。

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価				
1	スポーツ振興課	事業内容	システムの構築については進展がないが、オリンピック育成事業等、個別の事業を通じてコンディショニング指導や医・科学サポートに関する支援を進めている。			
		成果・課題	(成果) ・システムの構築については進展がないが、個別の事業を通じてコンディショニング指導や医・科学サポートに関する支援を進めている。 (課題) ・個別対応事例などを整理しながら、県と県体協医・科学委員会で一体となった医・科学サポート体制が確立できるよう研究を重ねていきたい。	評価	H25年度	2.0
					H26年度	2.0
					H27年度	3.0
					H28年度	3.0
					H29年度	3.0

4 総合評価

総合評価	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	2.0	2.0	3.0	3.0	3.0

平成29年度 スポーツ推進計画施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	Ⅱ 競技スポーツの推進	施策の方向性	未来へ羽ばたくアスリートの育成・支援
施策名	2 次世代指導者の育成・養成	部課室名	環境文化部スポーツ振興課

2 課室施策評価

(1) 推進計画における数値目標

(基本施策名)	施策目標	- 次代を担う指導者の人材確保 - 指導力及び資質向上を目的とした研修機会の提供							
	数値目標	指標名	該当なし	年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
		策定時		目標値					
		指標の説明		実績値					

(2) 成果及び課題

成果	- 大学4年生で1名、既卒者で1名のUターン就職者を確保し、成果を上げることができた。 - 中央競技団体の合宿や海外の現場研修へ、9競技18名を派遣し（オリンピック育成事業）、選手育成環境整備に努めた。
課題	アスリートUターン促進事業では、より効果的なアスリートの就職支援とともに、採用後の支援等についても研究していきたい。

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価				
1	スポーツ振興課	事業内容	- ジュニア期から岡山で育成され、県外で活躍している心身ともに優れたアスリートのUターン就職を促進することで、継続的に優秀な人材を確保し、競技スポーツの推進はもとより、スポーツを通じた地域貢献に資する。 - 将来、オリンピックをはじめ、国際大会で活躍する選手の育成が期待される県内トップレベルのに対し、高度な指導方法と知識を得る機会を提供する。			
		成果・課題	(成果) ・現地での研修(オリンピック育成事業)や、指導者研修会では、世界で戦い抜く指導方法を学ぶことができ、充実した内容であった。 ・大学4年生で1名、既卒者で1名の内定者を確保し、成果を上げることができた。 (課題) ・アスリートUターン促進事業では、より効果的なアスリートの就職支援とともに、採用後の支援等についても研究していきたい。	評価	H25年度	3.0
					H26年度	3.0
					H27年度	3.0
					H28年度	3.0
					H29年度	3.0

4 総合評価

総合評価	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0

平成29年度 スポーツ推進計画施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	Ⅱ 競技スポーツの推進	施策の方向性	未来へ羽ばたくおかやまアスリートの育成・支援
施策名	3 障害者アスリートの競技力の向上	部課室名	保健福祉部障害福祉課

2 課室施策評価

(1) 推進計画における数値目標

(基本施策名)	施策目標	・障害者アスリートのレベルアップ							
	数値目標	指標名	該当無し	年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
		策定時		目標値					
		指標の説明		実績値					

(2) 成果及び課題

成果	・「第17回岡山県障害者スポーツ大会」は、個人競技6競技、団体競技5競技、公開競技3競技、計14競技を県内各地で実施。個人競技1,516人、団体競技159人、公開競技376人、延べ2,051人の参加があった。 ・全国大会へは、個人競技6競技33人、団体競技4競技41人の選手の派遣を行い、個人競技で42個のメダルを獲得した。 ・障害のある選手が、障害者スポーツの全国的な祭典である大会に参加し、競技等を通じ、スポーツの楽しさを体験するとともに、障害のある人の社会参加の促進に寄与できた。 ・岡山県障害者スポーツ指導員（初級）養成講習会を延べ4日間開催し、受講を修了した13人が日本障がい者スポーツ協会に指導員（初級）の登録申請を行った。また、日本障がい者スポーツ協会等が実施する5つの指導者養成講習会に延べ6人を派遣し、指導者の指導技術の向上を図った。
課題	・障害の特性に応じた専門的な知識を備えた指導者に指導を受けることのできる環境づくり ・養成された指導員の再登録及び活用の促進

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価				
1	障害福祉課	事業内容	・「岡山県障害者スポーツ大会」の開催 ・「全国障害者スポーツ大会」及び団体競技地区大会への選手団の派遣 ・岡山県障害者スポーツ指導員（初級）養成講習会の開催及び障害者スポーツ指導者養成講習会等への派遣			
		成果・課題	(成果) ・「第17回岡山県障害者スポーツ大会」は、個人競技6競技、団体競技5競技、公開競技3競技、計14競技が県内各地で実施された。個人競技では各競技に1,516人、団体競技では各競技に159人、公開競技では、各競技に376人、延べ2,051人の参加があった。 ・全国大会へは、個人競技6競技33人、団体競技4競技41人の選手の派遣を行い、個人競技で42個のメダルを獲得した。 ・障害のある選手が、障害者スポーツの全国的な祭典である大会に参加し、競技等を通じ、スポーツの楽しさを体験するとともに、障害のある人の社会参加の促進に寄与できた。 ・岡山県障害者スポーツ指導員（初級）養成講習会を延べ4日間開催し、受講を修了した13人が日本障がい者スポーツ協会に指導員（初級）の登録申請を行った。また、日本障がい者スポーツ協会等が実施する5つの指導者養成講習会に延べ6人を派遣し、指導者の指導技術の向上を図った。 (課題) ・障害の特性に応じた専門的な知識を備えた指導者に指導を受けることのできる環境づくり ・養成された指導員の再登録及び活用の促進が課題。			
				H25年度	3.0	評価
				H26年度	3.0	
				H27年度	3.0	
				H28年度	3.0	
				H29年度	3.0	

4 総合評価

総合評価	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0

平成29年度 スポーツ推進計画施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	Ⅱ 競技スポーツの推進	施策の方向性	未来へ羽ばたくアスリートの育成・支援
施策名	4 スポーツ人材のキャリア教育と好循環	部課室名	環境文化部スポーツ振興課

2 課室施策評価

(1) 推進計画における数値目標

(基本施策名)	施策目標	・スポーツ選手の望ましいキャリア形成を支援 ・アスリートの好循環の創出						
	指標名	該当なし	年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	策定時		目標値					
	指標の説明		実績値					

(2) 成果及び課題

成果	・キャリア教育に特化した個別事業はないが、各種強化事業の中で取り組んでいる。
課題	・各強化事業の中で、競技団体と連携しながら着実に取り組んでいく必要がある。 ・本県スポーツ振興の担い手を育成するため、関係機関等とも連携しながら、引き続き研究する必要がある。

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価				
1	スポーツ振興課	事業内容	キャリア教育に特化した個別事業はないが、各種強化事業の中で取り組んでいる。			
		成果・課題	(成果) ・県としては事業化していないため評価はできないが、各種強化事業等において、各競技団体内で取り組まれている。 (課題) ・本県スポーツ振興の担い手を育成するため、関係機関等とも連携しながら、引き続き研究する必要がある。	評価	H25年度	2.0
					H26年度	2.0
					H27年度	2.0
					H28年度	2.0
					H29年度	2.0

4 総合評価

総合評価	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0

平成29年度 スポーツ推進計画施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	Ⅱ 競技スポーツの推進	施策の方向性	未来へ羽ばたくアスリートの育成・支援
施策名	5 躍動する競技スポーツの魅力発信	部課室名	環境文化部スポーツ振興課

2 課室施策評価

(1) 推進計画における数値目標

(基本施策名)	施策目標	・アスリートの活躍を情報発信 ・競技スポーツへの関心と応援気運の醸成							
	指標名	該当なし	年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	策定時		目標値						
	指標の説明		実績値						

(2) 成果及び課題

成果	・懸垂幕の掲出、県広報誌や広報番組等の媒体を活用し、世界で活躍する選手やトップクラブチームのPRを行い、競技スポーツへの関心や応援気運の醸成を図るとともに、岡山の情報発信を行った。
課題	・これまで以上に各種広報媒体の幅広い活用や情報発信を検討するとともに、財源確保についても検討が必要である。

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価				
1	スポーツ振興課	事業内容	・懸垂幕の掲出、県広報誌や広報番組等の媒体を活用し、世界で活躍する選手やトップクラブチームのPRを行い、競技スポーツへの関心や応援気運の醸成を図るとともに、岡山の情報発信を行う。			
		成果・課題	(成果) ・懸垂幕の掲出、県広報誌や広報番組等の媒体を活用し、世界で活躍する選手やトップクラブチームのPRを行い、競技スポーツへの関心や応援気運の醸成を図るとともに、岡山の情報発信を行った。 (課題) ・これまで以上に各種広報媒体の幅広い活用や情報発信を検討するとともに、財源確保についても検討が必要である。	評価	H25年度	3.0
					H26年度	3.0
					H27年度	3.0
					H28年度	3.0
					H29年度	3.0

4 総合評価

総合評価	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0

平成29年度 スポーツ推進計画施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	Ⅲ 学校等における体育・スポーツ活動の充実	施策の方向性	運動好きな子どもの育成と体力向上の取組の推進
施策名	1 教科体育の充実	部課室名	教育庁保健体育課

2 課室施策評価

(1) 推進計画における数値目標

(基本施策名)	施策目標	- 児童生徒の発達段階を踏まえた体育学習の推進 - 体育科・保健体育科教員の資質向上							
	数値目標	指標名	該当無し	年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
		策定時		目標値					
		指標の説明		実績値					

(2) 成果及び課題

成果	- 体育実技講習会では、実技講習だけではなく、授業を行う際に留意する事項や工夫・アイデアなどの提示も行っており、参加者からは、得られた情報を生かしてすぐに実践したいなどの意見が寄せられた。 - 体育実技講習会参加者延べ人数 138人(172人) ※()はH28年度 - 武道の講習会について、実技講習、授業場面で使えるアイデアや模擬授業などの内容で行い、参加者からは授業実践に役立つ情報が得られ、実際に授業が改善できたという前向きな意見が寄せられた。 - 武道講習会等参加者 106名(64名) ※()はH28年度
課題	体育実技講習会について、新学習指導要領に対応した内容を含めるなどさらに充実する必要がある。

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価				
1	保健体育課	事業内容	- 授業実践例をホームページや指導資料等で紹介 - 武道等の保健体育授業へ地域のスポーツ指導者を派遣 - 実技講習会の開催			
		成果・課題	(成果) - 体育実技講習会では、実技講習だけではなく、授業を行う際に留意する事項や工夫・アイデアなどの提示も行っており、参加者からは、得られた情報を生かして2学期からすぐに実践したいなどの意見が寄せられた。 - 体育実技講習会参加者延べ人数 138人(172人) ※()はH28年度 - 武道の講習会について、実技講習、授業場面で使えるアイデアや模擬授業などの内容で行い、参加者からは授業実践に役立つ情報が得られ、実際に授業が改善できたという前向きな意見が寄せられた。 - 武道講習会等参加者 106名(64名) ※()はH28年度 - 公立中学校武道授業におけるケガの発生件数は、ここ3年間減少している。 - ケガの発生数 H27:55 → H28:48 → H29:35 ※日本スポーツ振興センターへ医療費を請求した件数 (課題) - 体育実技講習会について、新学習指導要領に対応した内容を含めるなどさらに充実する必要がある。	評価	H25年度	3.0
					H26年度	3.0
					H27年度	3.0
					H28年度	3.0
					H29年度	3.0

4 総合評価

総合評価	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0

平成29年度 スポーツ推進計画施策評価シート

1 評価施策名

基本施策Ⅲ	学校等における体育・スポーツ活動の充実	施策の方向性	運動好きな子どもの育成と体力向上の取組の推進
施策名	2 子どもの体力向上の推進	部課室名	教育庁保健体育課

2 課室施策評価

(1) 推進計画における数値目標

(基本施策名)	施策目標	- 新体力テストの結果を基にした体力向上の取組の推進 - 運動の習慣化を図る取組の推進 - 体力向上に関する教員の指導力向上							
	指標名	1 週間の総運動時間数60分未満の児童生徒数の割合	年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	(参考) 34年度
	策定時	平成22年度 小5男子10.6% 小5女子24.7% 中2男子10.0% 中2女子36.4%	目標値				小5男子 8% 小5女子18% 中2男子 8% 中2女子27%		小5男子 5.0% 小5女子 8.5% 中2男子 5.0% 中2女子18.2%
	指標の説明	全国体力・運動能力、運動習慣等調査による数値	実績値	小5男子 9% 小5女子21.3% 中2男子11% 中2女子32.1%	小5男子 5.7% 小5女子12.1% 中2男子 7% 中2女子21.6%	小5男子 5.8% 小5女子12.1% 中2男子 7% 中2女子21.6%	小5男子 5.7% 小5女子10.5% 中2男子 7.1% 中2女子20.7%	小5男子 5.3% 小5女子 9.7% 中2男子 6.4% 中2女子18.7%	(改訂版)

(2) 成果及び課題

成果	- 全ての区分において、1週間の総運動時間数60分未満の割合が減少し、「運動の習慣化」について意識の向上が見られた。 - 運動の習慣化、体力の向上を図る取組である、「みんなでチャレンジランキング」で、参加数は昨年度より減少したものの、多くの参加があり、全校園による取組も見られた。 参加校園数：262(294) 参加チーム数：3,091(3,578) 参加延べ人数：42,534(48,809) ※()はH28年度
課題	1週間の総運動時間数60分未満の児童生徒数の割合は、小学校の男女は全国平均より良い状態にあり、中学校女子も改善傾向にあるので、現在の取組を継続して行っていく。

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価				
1	保健体育課	事業内容	・「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果についての分析、課題把握とその改善を図るための指導資料等作成、配付 ・各学校の体力向上の取組支援 ・「みんなでチャレンジランキング」への参加呼びかけ ・実践的な研修会の開催			
			成果・課題	評価	H25年度	4.0
		H26年度			4.0	
		H27年度			4.0	
		H28年度			4.0	
		H29年度			4.0	

4 総合評価

総合評価	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0

平成29年度 スポーツ推進計画施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	Ⅲ 学校等における体育・スポーツ活動の充実	施策の方向性	運動好きな子どもの育成と体力向上の取組の推進
施策名	3 運動部活動の充実	部課室名	教育庁保健体育課

2 課室施策評価

(1) 推進計画における数値目標

(基本施策名)	施策目標	- 運動部顧問教員の資質向上 - 学校体育大会への支援 - 優秀選手の表彰 - 生徒の運動部活動加入率向上						
	指標名	運動部活動加入率	年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	策定時	平成23年度 中学男子78.9%、中学女子53.2% 高校男子60.0%、高校女子29.8%	目標値				中学男子81% 中学女子55% 高校男子62% 高校女子32%	
	指標の説明	中学校、高等学校の在籍生徒数に対する運動部活動加入率	実績値	中学男子80.6% 中学女子55.8% 高校男子61.4% 高校女子30.7%	中学男子75.8% 中学女子53.1% 高校男子61.7% 高校女子30.5%	中学男子76.1% 中学女子53.8% 高校男子61.7% 高校女子30.7%	中学男子75.1% 中学女子53.8% 高校男子61.3% 高校女子30.6%	中学男子78.3% 中学女子58.5% 高校男子63.7% 高校女子30.5%

(2) 成果及び課題

成果	「中・高等学校体育担当者研修会講座」、「スポーツ指導者・運動部活動顧問等研修会」、「運動部活動支援員等研修会」で運動部活動指導資料等を活用し、適切な運動部活動の実施について指導を行った。研修会後のアンケートに、コーチングやスポーツ医・科学的な理論を積極的に取り入れようとする記述が多くあったことなどから教員の意識改革につながった。 - 競技成績が優秀な生徒及び団体を表彰する「学校体育表彰」の受賞者が前年度と比較して減少した。 個人16(20)、団体3(5) ※()はH28年度 - 中学男女、高校男子の運動部活動加入率が前年度と比較して増加した。(高校女子は横ばい) 中男78.3%(75.1%) 中女58.5%(53.8%) 高男63.7%(61.3%) 高女30.5%(30.6%) ※()はH28年度
課題	- 国が示す「ガイドライン」を踏まえた、持続可能な運動部活動の在り方を研究し、適切な部活動の運営を示していく必要がある。 - 全体で50%以上の生徒が運動部活動に参加しており、運動部活動の魅力づくりが一定程度なされていると考えられるが、不適切な指導の根絶や医・科学的なトレーニングに基づく適切な活動内容等の徹底が急務である。

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価				
1	保健体育課	事業内容	- 体罰やパワーハラスメント等の防止、実技指導のポイント及び安全管理などの研修実施 - 学校体育大会の共催、後援と全国・ブロック大会に参加する生徒の支援 - 全国高校総体、全国中学校体育大会等において優秀な成績を収めた者(優勝者)に対して表彰 - 専門性を持った地域のスポーツ人材の派遣			
		成果・課題	(成果) 「中・高等学校体育担当者研修会講座」、「スポーツ指導者・運動部活動顧問等研修会」、「運動部活動支援員等研修会」等で運動部活動指導資料等を利用し、適切な運動部活動の実施について指導を行った。研修会後のアンケートに、コーチングやスポーツ医・科学的な理論を積極的に取り入れようとする記述が多くあったことなどから教員の意識改革につながった。 - 競技成績が優秀な生徒及び団体を表彰する「学校体育表彰」の受賞者が前年度と比較して減少した。 個人16(20)、団体3(5) ※()はH28年度 - 全体で50%以上の生徒が運動部活動に参加しており、運動部活動の魅力づくりが一定程度なされていると考えられる 中男78.3%(75.1%) 中女58.5%(53.8%) 高男63.7%(61.3%) 高女30.5%(30.6%) ※()はH28年度 (課題) - 国が示す「ガイドライン」を踏まえた、持続可能な運動部活動の在り方を研究し、適切な部活動の運営を示していく必要がある。 - 全体で50%以上の生徒が運動部活動に参加しており、運動部活動の魅力づくりが一定程度なされていると考えられるが、不適切な指導の根絶や医・科学的なトレーニングに基づく適切な活動内容等の徹底が急務である			
			H25年度	3.0		
			H26年度	3.0		
			H27年度	3.0		
			H28年度	3.0		
			H29年度	3.0		

4 総合評価

総合評価	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0

平成29年度 スポーツ推進計画施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	Ⅲ 学校等における体育・スポーツ活動の充実	施策の方向性	運動好きな子どもの育成と体力向上の取組の推進
施策名	4 運動習慣・食育等情報提供の促進	部課室名	教育庁保健体育課

2 課室施策評価

(1) 推進計画における数値目標

(基本施策名)	施策目標	・運動習慣、食育等、健康・体力に関する情報の提供							
	数値目標	指標名	該当無し	年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
		策定時		目標値					
		指標の説明		実績値					

(2) 成果及び課題

成果	・全ての区分において、1週間の総運動時間数60分未満の割合が減少し、「運動の習慣化」について意識の向上が見られた。 60分未満割合 小男5.3% (5.7%)、小女 9.7% (10.5%) 中男6.4% (7.1%)、中女18.7% (20.7%) ※ () はH28年度
課題	・朝食摂取率(毎日朝食を食べる児童生徒)は、小学校、中学校ともに下降傾向にある。 小 H28:84.6% → H29:84.4% 中 H28:77.8% → H29:77.1% このため、H29年度から県学校栄養士会と連携して食育スタンダード推進事業に取り組み、学校が利用できる指導事例を作成するとともに、県ホームページに掲載して、県内学校の食育の取組を促進する。 ・運動習慣や食習慣の改善をさらに進めるために、学校としての取り組みを促し、家庭の理解を得るため、市町村教委に対して粘り強く取組を働きかける。

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価				
1	保健体育課	事業内容	・文科省・スポーツ庁全国調査の結果、研修会で紹介された資料や実践を県教育庁保健体育課のホームページに掲載			
		成果・課題		評価	H25年度	3.0
					H26年度	3.0
					H27年度	3.0
					H28年度	3.0
					H29年度	3.0

4 総合評価

総合評価	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0

平成29年度 スポーツ推進計画施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	Ⅲ 学校等における体育・スポーツ活動の充実	施策の方向性	運動好きな子どもの育成と体力向上の取組の推進
施策名	5 学校体育関係団体の活動支援	部課室名	教育庁保健体育課

2 課室施策評価

(1) 推進計画における数値目標

(基本施策名)	施策目標	・学校体育関係団体の調査活動を支援						
	指標名	該当無し	年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	策定時		目標値					
	指標の説明		実績値					

(2) 成果及び課題

成果	・県小体連、県中体連及び県高体連と岡山県学校体育研究連合会を組織し、「岡山県体力づくり研究推進大会」を開催し、幼児期からの体力づくりについての講演会を行った。
課題	・学習指導要領に示されている「生涯にわたって運動に親しむ資質や能力」を育成するためには、体育・保健体育の授業のみならず、休み時間、放課後の過ごし方や運動部活動等も重要なことから、各体連とさらに連携を深め、望ましい生活習慣及び運動習慣の確立を図っていく必要がある。

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価				
1	保健体育課	事業内容	・小、中、高体連への指導助言 ・小、中、高体連と県教委が共同で、体育及びスポーツ活動の在り方について研究協議			
		成果・課題	(成果) ・県小体連、県中体連及び県高体連と岡山県学校体育研究連合会を組織し、「岡山県体力づくり研究推進大会」を開催し、幼児期からの体力づくりについての講演会を行った。 (課題) ・学習指導要領に示されている「生涯にわたって運動に親しむ資質や能力」を育成するためには、体育・保健体育の授業以外にも、休み時間、放課後の過ごし方や運動部活動等も重要なことから、各体連とさらに連携を深め、望ましい生活習慣及び運動習慣の確立を図っていく必要がある。	評価	H25年度	3.0
					H26年度	3.0
					H27年度	3.0
					H28年度	3.0
					H29年度	3.0

4 総合評価

総合評価	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0

平成29年度 スポーツ推進計画施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	IV スポーツ環境の整備	施策の方向性	気軽にスポーツに親しむことができる機会の創出
施策名	1 総合型地域スポーツクラブの活性化等	部課室名	環境文化部スポーツ振興課

2 施策評価

(1) 推進計画における数値目標

(基本施策名)

施策目標	- 総合型クラブの活動の広報と運営の安定化 - 総合型クラブ間の連携の強化と情報の共有化							
数値目標	指標名	学校運動部活動と連携している総合型クラブ数	年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	策定時	平成23年度 6クラブ	目標値				12クラブ	
	指標の説明	連携しているとは、総合型クラブの指導者が学校に出向き指導する場合と、学校の運動部活動単位で児童生徒が総合型クラブで練習しているものをいう。	実績値	7クラブ	7クラブ	7クラブ	7クラブ	8クラブ

(2) 成果及び課題

成果	- 市町村に対し、総合型クラブの設立の働きかけや総合型クラブ等を活用した事業等の事例の情報提供を行った。 - スポーツボランティア研修会を開催し、総合型クラブの指導者やスポーツ推進委員等の情報共有・交流を促進し、連携の強化を図った。
課題	- 町村によっては、既存の組織で住民のスポーツ活動を推進しており、総合型クラブに対する住民ニーズが低いところもある。 - 広域スポーツセンターについては、国の動向を踏まえながら、引き続き、その位置づけを検討する必要がある。

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価				
1	スポーツ振興課	事業内容	- 県民局・市町村スポーツ振興・体育協会担当者会議において、総合型クラブの設立を働きかけるとともに、県体育協会と連携して、総合型クラブを訪問し実情を把握するなど、総合型クラブの設立・育成を図る。 - 県スポーツ振興課のホームページで総合型クラブの紹介を行うなど、県民への広報に努める。 - スポーツボランティア研修会等を通じて、総合型クラブ関係者等を対象として、「支えるスポーツ」の普及と地域スポーツの振興に関する諸問題等について研究・討議を行う。 - 総合型クラブの活性化を促進するため、岡山県体育協会に委託し、広域スポーツセンター業務を担うスタッフを設置する。			
		成果・課題	(成果) ・市町村担当者会議において、総合型クラブの設立を働きかけるとともに、市町村に対し総合型クラブ等を活用した事業等の事例の情報提供を行った。 ・地域スポーツ推進研修会を開催し、総合型クラブの指導者やスポーツ推進委員、行政職員等の情報共有・交流を促進し、連携の強化を図った。 (課題) ・町村によっては、既存の組織で住民のスポーツ活動を推進しているところがあり、総合型クラブの設立に対する住民ニーズが低いところもある。 ・広域スポーツセンターについては、国の動向を踏まえながら、引き続き、その位置づけを検討する必要がある。	評価	H25年度	3.0
					H26年度	3.0
					H27年度	3.0
					H28年度	3.0
					H29年度	3.0

4 総合評価

総合評価	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0

平成29年度 スポーツ推進計画施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	IV スポーツ環境の整備	施策の方向性	気軽にスポーツに親しむことができる機会の創出
施策名	2 地域でスポーツを支える人材の養成等 (1) 地域でスポーツを支える指導者の養成及び資質の向上について		部課室名 環境文化部スポーツ振興課

2 施策評価

(1) 推進計画における数値目標

(基本施策名)	施策目標	・ 地域住民のニーズを踏まえた地域におけるスポーツ指導者の養成及び資質の向上							
	指標名	該当なし	年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	策定時		目標値						
	指標の説明		実績値						

(2) 成果及び課題

成果	- 岡山県スポーツ推進委員協議会が主催する研修会等において、スポーツ推進委員などの具体的な事例発表やニュースポーツなど実技等を学ぶことで、指導員の資質向上につながった。 - 県体育協会を通じて、総合型地域スポーツクラブに対し、学校部活動との連携を働きかけた。
課題	- 総合型クラブと学校部活動との連携がより推進されるような取組が必要である。 - スポーツ推進委員との連携も強化していく必要がある。

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価				
1	スポーツ振興課	事業内容	- 岡山県スポーツ推進委員協議会が主催する研修会等において、スポーツ推進委員などの具体的な事例発表や実技等を学ぶことで、指導員の資質向上に繋げる。 - 岡山県体育協会と連携して、総合型クラブと学校部活動の連携が推進されるよう情報提供の在り方等について検討していく。 - 総合型地域スポーツクラブ岡山協議会と岡山県体協会と協働で体験会・講演会を実施し、資質向上へ繋げる。			
		成果・課題	(成果) ・岡山県スポーツ推進委員協議会が主催する研修会等において、スポーツ推進委員などの具体的な事例発表や実技等を学ぶことで、指導員の資質向上に繋げた。 ・県体育協会を通じて、総合型クラブに対し、学校部活動との連携を働きかけた。 (課題) ・総合型クラブと学校部活動との連携がより推進されるような取組が必要である。 ・スポーツ推進委員との連携強化も必要である。	評価	H25年度	3.0
					H26年度	3.0
					H27年度	3.0
					H28年度	3.0
					H29年度	3.0

4 総合評価

総合評価	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0

平成29年度 スポーツ推進計画施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	Ⅳ スポーツ環境の整備	施策の方向性	気軽にスポーツに親しむことができる機会の創出
施策名	2 地域でスポーツを支える人材の養成等 (2) 地域でスポーツを支えるボランティアの養成について	部課室名	環境文化部スポーツ振興課

2 施策評価

(1) 推進計画における数値目標

(基本施策名)	施策目標	・スポーツを支えるボランティアの養成							
	数値目標	指標名	該当なし	年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
		策定時		目標値					
		指標の説明		実績値					

(2) 成果及び課題

成果	・おかやまマラソンにおいて、県民にスポーツボランティアへの関心を持ってもらうため、大会運営を支えるボランティアを個人はもとより、企業、地域団体、学校等から広く募集するとともに、ボランティア研修会等を通じてボランティアリーダーの養成を行った。
課題	おかやまマラソンのみならず、より幅広くスポーツボランティアについて周知するため、より効果的なPR手法を検討する必要がある。

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価				
1	スポーツ振興課 (マラソン)	事業内容	・おかやまマラソンにおいて、県民が一体となって「支える」大会となるよう、大会運営を支えるボランティアを個人はもとより、企業、地域団体、学校等から広く募集する。			
		成果・課題	(成果) ・おかやまマラソン2017においては、ランナー受付、給水・給食、沿道整理などで5,000人のボランティアが大会を「支える」人として活躍した。大会後に行ったアンケートでは、ランナーからボランティアの対応について、「大変満足」「まずまず満足」との回答が9割を超えるなど、引き続き高い評価を得た。 (課題) ・おかやまマラソンのみならず、より幅広くスポーツボランティアについて周知するため、より効果的なPR手法を検討する必要がある。	評価	H25年度	4.0
					H26年度	4.0
					H27年度	4.0
					H28年度	4.0
					H29年度	4.0

4 総合評価

総合評価	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0

平成29年度 スポーツ推進計画施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	IV スポーツ環境の整備	施策の方向性	気軽にスポーツに親しむことができる機会の創出
施策名	2 地域でスポーツを支える人材の養成等 (3) ホームページ等を活用した情報提供	部課室名	環境文化部スポーツ振興課

2 課室施策評価

(1) 推進計画における数値目標

(基本施策名)	施策目標	・県ホームページを活用した県内スポーツ施設の概要等の情報発信による施設の利用拡大 ・県ホームページを活用した指導者情報やスポーツ・レクリエーションの講座や教室開催の情報提供の充実 ・岡山県スポーツリーダーバンクの活用及び登録の促進						
	指標名	該当なし	年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	策定時		目標値					
	指標の説明		実績値					

(2) 成果及び課題

成果	「ぱるネット岡山」を通じて、県内スポーツ施設の概要やスポーツリーダーバンクの指導者情報を広報するなど、ホームページを活用した情報提供を行い、スポーツ施設の活用の促進等を図った。 - 多くの県民が気軽に運動やスポーツに参加できるよう、運動・スポーツの体験教室やクラブ・サークル情報、県内スポーツイベント情報を提供し、「場所探し・活動探し」をサポートする「スポーツニーズ・マッチング事業」として「おかやまスポーツナビ」を運営した。
課題	スポーツリーダーの新規登録者数の増加を促進するとともに、既登録者について、既存事業と連動を図りながら活動の場の提供につなげていく必要がある。

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価				
1	スポーツ振興課	事業内容	「ぱるネット岡山(岡山県生涯学習情報提供システム)」において、市町村のスポーツ施設等についての概要を掲載し、県民のスポーツ施設の活用を促進する。 - スポーツやレクリエーション活動の指導者を登録し、「ぱるネット岡山」を通じて、指導者情報を提供する。 - 岡山県ホームページや関係団体との諸会議を利用し、登録者の拡大や活用の促進を図る。 - 多くの県民が、気軽に運動やスポーツに参加できるよう、「場所探し・活動探し」をサポートし、スポーツ活動に取り組む人の増加につなげる。			
		成果・課題	(成果) ・県ホームページへのスポーツ施設の概要の掲載を通じて、利用者の利便性の向上やスポーツ施設の活用の促進が図れた。 ・スポーツの体験教室やクラブ・サークル情報、県内スポーツイベント情報を提供し、「場所探し・活動探し」をサポートすることでスポーツ活動に取り組む人の増加につなげる「スポーツニーズ・マッチング事業」として「おかやまスポーツナビ」を運営した。 (課題) ・スポーツリーダーの新規登録者数の増加を促進するとともに、既登録者について、既存事業との連携を図りながら活動の場の提供につなげていく必要がある。 ・より「おかやまスポーツナビ」を活用していただけるように、わかりやすく、扱いやすいものにしていく必要がある。	評価	H25年度	3.0
					H26年度	3.0
					H27年度	3.0
					H28年度	3.0
					H29年度	3.0

4 総合評価

総合評価	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0

平成29年度 スポーツ推進計画施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	Ⅳ スポーツ環境の整備	施策の方向性	気軽にスポーツに親しむことができる機会の創出
施策名	3 スポーツの表彰制度	部課室名	環境文化部スポーツ振興課

2 課室施策評価

(1) 推進計画における数値目標

(基本施策名)	施策目標	・優秀な成績を収めた個人又は団体を表彰し、アスリートや指導者の意欲の向上 ・長年にわたり顕著な功績を挙げたスポーツ関係者を表彰し、スポーツ関係者の意識の向上 ・輝かしい功績を収めた高年齢選手を表彰し、生涯にわたりスポーツを実践する意識の向上							
	数値目標	指標名	該当なし	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
		策定時		目標値					
		指標の説明		実績値					

(2) 成果及び課題

成果	・29年度も各種大会での活躍が多く、安定した成果を残している。岡山県スポーツ特別顕彰は4人、岡山県トップアスリート賞は個人52・団体14、スポーツマスターズ賞は個人2、岡山県生涯スポーツ功労者表彰は個人2を表彰した。
課題	・世界選手権等へ今まで岡山県関係者の出場がなかった競技においては、大会や出場選手の情報などが把握できていないものがある。

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価				
1	スポーツ振興課	事業内容	・スポーツの国際大会や全国大会において、優秀な成績を収めた個人又は団体及び優秀な指導者を知事が顕彰し、本県スポーツの振興に資する。 ・スポーツ特別顕彰 ・トップアスリート賞(栄誉賞、優秀賞、奨励賞、特別賞、功労賞) ・スポーツマスターズ賞、生涯スポーツ功労者表彰			
		成果・課題	(成果) ・平成29年度も各種大会での活躍が多く、前年度並みの表彰件数であり、安定した成果を残している。	評価	H25年度	3.0
					H26年度	3.0
					H27年度	3.0
					H28年度	3.0
					H29年度	3.0

4 総合評価

総合評価	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0

平成29年度 スポーツ推進計画施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	Ⅳ スポーツ環境の整備	施策の方向性	気軽にスポーツに親しむことができる機会の創出
施策名	4 スポーツ施設の機能の充実と活用の促進	部課室名	環境文化部スポーツ振興課 保健福祉部健康推進課 土木部都市計画課

2 施策評価

(1) 推進計画における数値目標

(基本施策名)	施策目標	・県内スポーツ施設の機能の充実及び利用拡大							
	指標名	県営スポーツ施設利用者数	年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	(参考) 34年度
	策定時	平成23年度 1,575千人	目標値				1,744千人		1,930千人
	指標の説明	シティライトスタジアム、ジップアリーナ岡山、岡山武道館、津山総合体育館・津山東体育館、津山陸上競技場、美作ラグビー・サッカー場、笠岡陸上競技場、備前テニセンターの利用者数	実績値	1,684千人	1,668千人	1,754千人	1,990千人	1,691千人	

(2) 成果及び課題

成果	・利用者の利便性の向上やスポーツ施設の活用の促進のため、指定管理者による自主事業の実施やホームページを活用した施設情報の提供を行っており、スポーツ施設の活用を促進した。 ・包括協定に基づく安全管理計画による施設管理を行い、事故防止や事故発生時の体制の整備に努めた。 ・スポーツ施設の管理者に対する講習会により、管理者の資質向上が図られた。 ・県有施設の改修や設備の更新を計画的に行っており、県内スポーツ施設の機能の充実を図っている。
課題	・スポーツ施設について、さらなる利便性の向上に資するような情報提供の手法を検討する必要がある。 ・各施設の老朽化が進み、今後施設・設備の改修費用が嵩んでくることから、公共施設マネジメント方針に基づく個別施設計画を策定し、計画的な改修等により長寿命化を図っていく必要がある。

3 各課における評価

番号		部課名		事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価					
1	スポーツ振興課	事業内容	・スポーツニーズマッチング事業として整備した「おかやまスポーツナビ」においてスポーツ施設等の概要を掲載し、活用の促進を図る。 ・指定管理者に対し、包括協定に基づく安全管理計画による施設管理や、積極的な利用者サービスの向上に向けた取組を要請し、安全で適切な施設管理に努める。 ・スポーツ施設の設置者である地方公共団体の担当者や施設管理者を対象に、施設・設備の点検や管理体制等の適切で具体的な知識の啓発を行うため、スポーツ施設における事故防止を目的とした講習会を実施する。 ・美作ラグビー・サッカー場のスコアボードについて、老朽化が激しく、使用に耐えなくなったため、更新する。					H25年度	3.0
								H26年度	3.0
		成果・課題	(成果) ・利用者の利便性の向上やスポーツ施設の活用の促進のため、ホームページを活用した施設情報の提供を行い、スポーツ施設の活用を促進した。 ・包括協定に基づく安全管理計画による施設管理を行い、事故防止や事故発生時の体制の整備に努めた。 ・スポーツ施設の管理者に対する講習会により、管理者の資質向上が図られた。 (課題) ・スポーツ施設について、さらなる利便性の向上に資するような情報提供の手法を検討する必要がある。 ・通常の利用者数の増加に取り組む必要がある。 ・施設の老朽化が進み、今後施設の改修費用が高んできるところから、財源確保の問題を検討する必要がある。			H27年度	3.0		
						H28年度	3.0		
								H29年度	3.0

25

2	健康推進課	事業内容	岡山県南部健康づくりセンターの利用促進				
		成果・課題	(成果) ・岡山県南部健康づくりセンターについて、指定管理者と連携し、利用者の利便性の向上などに取り組んだ。	評価	H25年度	3.0	
					H26年度	3.0	
					H27年度	3.0	
					H28年度	3.0	
					H29年度	3.0	
3	都市計画課	事業内容	・長寿命化計画に基づき、施設機能の維持充実のため必要な改修整備を実施する。 ・指定管理者は利用者のニーズにあった自主事業を実施する。 ・指定管理者は安全管理計画を策定し、これに基づき施設管理を実施する。				
		成果・課題	(成果) ・総合グラウンドにおいて補助陸上競技場のトラックの全面改修等を行った。 ・自主事業としてスポーツ教室を実施するなど、施設の利用拡大を行った。 ・安全管理計画に基づき施設管理を行った。	評価	H25年度	3.0	
					H26年度	3.0	
					H27年度	3.0	
					H28年度	3.0	
					H29年度	3.0	

4 総合評価

総合評価	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0

平成29年度 スポーツ推進計画施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	Ⅳ	スポーツ環境の整備	施策の方向性	気軽にスポーツに親しむことができる機会の創出	
施策名	5	学校体育施設の開放の促進	部課室名	教育庁保健体育課	

2 課室施策評価

(1) 推進計画における数値目標

（基本施策名）	施策目標	公立学校体育施設の活用促進								
	指標名	学校体育施設の開放率	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	（参考） 33年度	
	現況値	平成22年度 屋外運動場83%、体育館89%、武道場58%	目標値				屋外運動場 85% 体育館91% 武道場60%		屋外運動場 85% 体育館91% 武道場60%	
	指標の説明		実績値	屋外運動場 83% 体育館89% 武道場55%	屋外運動場 80% 体育館88% 武道場54%	屋外運動場 80% 体育館88% 武道場57%	屋外運動場 78% 体育館89% 武道場59%	屋外運動場 78% 体育館90% 武道場59%		

(2) 成果及び課題

成果	・公立学校の体育施設の開放率は国の平均を上回っており、県民に有効活用されている。 H27年度開放状況：屋外運動場78%（75%）、体育館89%（82%）、武道場59%（40%） H28年度開放状況：屋外運動場78%（75%）、体育館90%（82%）、武道場59%（40%） ※（ ）は全国平均
課題	・公立学校の体育施設の開放率は、全国平均を上回っているものの、活用されていない施設の現状を分析し、さらに多くの県民が活用できるように検討を行う。

3 各課における評価

番号		部課名		事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価					
1	保健体育課	事業 内 容	・地域におけるスポーツ活動の拠点として学校開放事業を推進するため、県立学校の開放状況を県教育庁保健体育課ホームページに掲載						
			成果・ 課 題		評 価	H25年度	3.0		
		H26年度				4.0			
		H27年度				4.0			
		H28年度				3.0			
		H29年度				3.0			
		(成果) ・公立学校の体育施設の開放率は国の平均を上回っており、県民に有効活用されている。 H27年度開放状況 屋外運動場78%(75%)、体育館89%(82%)、武道場59%(40%) H28年度開放状況 屋外運動場78%(75%)、体育館90%(82%)、武道場59%(40%) ※()は全国平均 (課題) ・公立学校の体育施設の開放率は、全国平均を上回っているものの、活用されていない施設の現状を分析し、さらに多くの県民が活用できるように検討を行う。							

4 総合評価

総合評価	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	3.0	4.0	4.0	3.0	3.0

平成29年度 スポーツ推進計画施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	V	スポーツを通じた地域の活性化	施策の方向性	元気あふれる地域の創出
施策名	1	トップクラブチームによるおかやまの元気・感動の創出	部課室名	環境文化部スポーツ振興課

2 施策評価

(1) 推進計画における数値目標

(基本施策名)	施策目標	・トップクラブチームへの支援の輪の拡大とトップクラブチームの活躍による地域活性化及び地域の一体感の醸成 ・子どもたちに夢を持って努力することの大切さやスポーツの楽しさを伝えることによるスポーツのきっかけづくりの推進							
	指標名	トップクラブチームのホームゲームにおける観客動員数	年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	(参考) 34年度
	策定時	平成23年度シーズン 166千人	目標値				224千人		273千人
	指標の説明	ファジアーノ岡山、岡山シーガルズ、岡山湯郷ベル、吉備国際大学シャルム岡山高梁のホームゲームにおける観客動員数	実績値	243千人	231千人	222千人	248千人	223千人	

(2) 成果及び課題

成果	・「県民応援デー」の実施やトップアスリート派遣事業の実施により、トップチームの応援気運の高まりやトップアスリートとの交流の機会の提供が推進され、各クラブのファン・サポーターの拡大やスポーツ活動に取り組む意欲向上を図るきっかけになった。 ・ファジアーノ岡山の「PRIDE OF 中四国」のアウェイゲームで、岡山の情報発信やアウェイサポーターの岡山への誘客促進等を実施できた。
課題	・「県民応援デー」の実施について県民により広く周知する必要がある。 ・アウェイゲームでの情報発信についても、そのPR手法を検討する必要がある。

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価				
1	スポーツ振興課	事業内容	・トップチームのホームゲームにおいて、前座試合や体験型イベントの実施、フォトスポットコーナーやパネルの設置など、各クラブのファン・サポーターの拡大やスポーツ活動に取り組む意欲向上を図るきっかけとなる「県民応援デー」を実施し、スポーツ活動に取り組む人たちの全県的な拡大を図る。 ・ファジアーノ岡山の「PRIDE OF 中四国」のアウェイゲームで、岡山の情報発信やアウェイサポーターの岡山への誘客促進を図るとともに、ホームゲームで相手チームのホームタウンのスポーツ少年団を招待のうえ、岡山の少年チームと交流試合を行うなど、県境を越えた情報発信・交流を図る。 ・トップクラブチームの選手が学校やスポーツ少年団等に出向き、技術指導や交流を実施するトップアスリート派遣事業を実施し、「するスポーツ」のきっかけづくりを促進する。			
		成果・課題	(成果) ・「県民応援デー」の実施により、トップチームの応援気運の高まりや、各クラブのファン・サポーターの拡大やスポーツ活動に取り組む意欲向上を図るきっかけになった。 ・ファジアーノ岡山の「PRIDE OF 中四国」のアウェイゲームで、岡山の情報発信やアウェイサポーターの岡山への誘客促進等を実施できた。 ・小中学校や市町村のイベントにトップクラブチームの選手を含めトップアスリートを派遣し、参加者に技術指導を行うなど、トップアスリートとの交流の機会の提供を推進し、「するスポーツ」のきっかけづくりにつながった。 (課題) ・「県民応援デー」の実施について、県民により広く周知するためのPR手法を検討する必要がある。 ・アウェイゲームでの情報発信についても、そのPR手法を検討する必要がある。	評価	H25年度	4.0
					H26年度	4.0
					H27年度	4.0
					H28年度	4.0
					H29年度	4.0

4 総合評価

総合評価	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0

平成29年度 スポーツ推進計画施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	V スポーツを通じた地域の活性化	施策の方向性	元気あふれる地域の創出
施策名	2 大規模なスポーツ大会の開催等によるスポーツ交流	部課室名	環境文化部スポーツ振興課 土木部都市計画課

2 施策評価

(1) 推進計画における数値目標

(基本施策名)	施策目標	・大規模なスポーツ大会の開催やスポーツ合宿誘致等による岡山の魅力の全国への発信 ・「する」、「みる」、「支える」スポーツ活動への多くの県民の参加								
	数値目標	指標名	日本代表チームのスポーツ合宿の実施数	年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
		策定時	平成23年度 2団体	目標値	4年間で8団体以上					
		指標の説明	日本代表チームの岡山県におけるスポーツ合宿の実施数（国体競技40種目）	実績値	0団体	0団体	0団体	0団体	2団体	

(2) 成果及び課題

成果	・おかやまマラソンについては、前回大会での運営面の改善を図りながら、託児サービスなどランナーサービスの向上にも取り組むなど、開催準備等を進めるとともに、大会開催に向けた広報や、機運醸成イベント等を実施した。また、並行して第4回大会の準備を進めた。 ・スポーツ合宿の誘致については、H29年7月の7人制ラグビー日本女子代表や、H30年3月のホッケー日本男子代表など合計9件の誘致を実現しており、東京オリンピックの事前キャンプについても、スペイン柔道やブルガリアバドミントン、ニュージーランドウエイトリフティングの3件が決定するなど、着実に成果が上がっているところである。 ・マスカットスタジアムにおいて、プロ野球公式戦1試合、プロ野球ウエスタン・リーグ公式戦1試合、オープン戦3試合が開催された。また、楽天の秋季キャンプが実施された。
課題	・スポーツ合宿の誘致については、地元市町村や県競技団体と緊密に連携しながら、これまでの実績等を踏まえ、具体的な国・競技の絞り込みを行い、東京オリンピック等の事前キャンプ誘致に結び付けていく必要がある。 ・県内のスポーツ施設の紹介サイトにおいて、スポーツ施設や宿泊施設の情報を充実させるなど、さらに魅力あるホームページの作成について検討する必要がある。

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価					
1	スポーツ振興課 (マラソン)	事業内容	岡山市をはじめ関係団体との連携のもとで、中四国最大規模の都市型マラソン大会を開催し、大会の開催を通じて、県民の健康と体力の増進、地域の活力向上や一体感の醸成を図るとともに、本県の情報発信や、地域経済の活性化など地域振興にも繋げる。 平成29年度は、前回大会での運営面の改善を図りながら、託児サービスなどランナーサービスの向上にも取り組むなど、開催準備等を進めるとともに、大会開催に向けた広報や、機運醸成イベント等を実施する。また、並行して第4回大会の準備を進める。				
		成果・課題	(成果) 平成29年11月12日に開催した「おかやまマラソン2017」では、全国から参加された16,000人のランナー、大会を支えた5,000人のボランティア、16万人もの応援者など、「走る」「みる」「支える」人々が一体となり、大きな盛り上がりとなるなど、地域に定着しつつある。 また、経済効果についても、2016大会と同額の14.7億円であったと推計した。 さらに、平成30年2月には実行委員会総会を開催し、第4回大会の骨格を決定するなど、次回大会に向けた準備を進めた。		評価	H25年度	4.0
				H26年度		4.0	
				H27年度		4.0	
				H28年度		4.0	
				H29年度		4.0	
2	スポーツ振興課	事業内容	・スポーツ合宿の誘致については、H28年度に創設したナショナルチーム等のキャンプやトップレベルの大会誘致のための補助制度等を活用し、市町村や県競技団体等と連携を図りながら、駐日大使館や中央の協議団体等への働きかけを強化するなど積極的に誘致活動を行い、一つでも多くのキャンプ誘致の実現をめざす。				
		成果・課題	(成果) ・スポーツ合宿の誘致については、H29年7月の7人制ラグビー日本女子代表や、H30年3月のホッケー日本男子代表など合計9件の誘致を実現しており、東京オリンピックの事前キャンプについても、スペイン柔道やブルガリアバドミントン、ニュージーランドウエイトリフティングの3件が決定するなど、着実に成果が上がっているところである。 (課題) ・地元市町村や県競技団体と緊密に連携しながら、これまでの実績等を踏まえ、具体的な国・競技の絞り込みを行い、東京オリンピック等の事前キャンプ誘致に結び付けていく必要がある。		評価	H25年度	3.0
				H26年度		3.0	
				H27年度		3.0	
				H28年度		3.0	
				H29年度		4.0	

3	都市計画課	事業内容	・マスカットスタジアムにプロ野球を誘致するため、「岡山にプロ野球を誘致する会」を中心に誘致活動を行う。 ・プロ野球開催時に球場周辺の賑わいづくりを実施する。			
		成果・課題	(成果) ・プロ野球公式戦1試合、プロ野球ウエスタン・リーグ公式戦1試合、オープン戦3試合が開催され、また楽天の秋季キャンプが実施された。 ・プロ野球開催時に、ご当地グルメの販売や観光PRなどを行い、球場周辺の賑わいづくりを行った。	評価	H25年度	3.0
					H26年度	3.0
					H27年度	3.0
					H28年度	4.0
					H29年度	3.0

4 総合評価

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
総合評価	3.3	3.3	3.3	3.7	3.7

平成29年度 スポーツ推進計画施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	V スポーツを通じた地域の活性化	施策の方向性	元気あふれる地域の創出
施策名	3 スポーツツーリズムによる地域活性化	部課室名	環境文化部スポーツ振興課

2 施策評価

(1) 推進計画における数値目標

(基本施策名)	施策目標	・トップクラブチームの試合、大規模なスポーツ大会の開催やスポーツ合宿の誘致などと観光を組み合わせた交流人口の拡大							
	数値目標	指標名	該当無し	年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	数値目標	策定時		目標値					
		指標の説明		実績値					

(2) 成果及び課題

成果	・J2に属している中四国のクラブチームや関係自治体と連携のうえ「PRIDE OF 中四国」を実施し、中四国の交流を進め、岡山の情報発信につながった。 ・2020年東京オリンピック・パラリンピック等の事前キャンプの誘致に向け、関係市と連携し、スポーツコミッション(2団体)の設立や活動を支援した。 ・地域資源を生かした環境スポーツイベントである「SEA TO SUMMIT」が鏡野町で初開催され、岡山の情報発信につながった。
課題	・2020年東京オリンピック・パラリンピック等の事前キャンプのさらなる誘致に向けて、市町村が中心的役割を担うスポーツコミッションの設立を働きかけていく必要がある。

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価				
1	スポーツ振興課	事業内容	・ファジアーノ岡山と中四国をホームとするJ2所属チームとの試合(「PRIDE OF 中四国」)において、関係自治体が連携し、情報発信を行うとともに、アウェイサポーターの誘客の促進など県域を越えた交流や地域の活性化を図る。 ・2020年東京オリンピック・パラリンピック等の開催を踏まえ、事前キャンプの誘致活動を積極的に行う。このため、先行事例を調査するとともに、県内関係団体や各地域での取組状況を把握しながら、「スポーツコミッション」の設立の支援を行う。 ・地域資源を生かした環境スポーツイベントであるSEA TO SUMMITを鏡野町において開催し、スポーツ活動への参加機会を提供することでスポーツ活動人口の増加を図るとともに、地域の魅力を発信することでイベントへの参加をきっかけとしたスポーツツーリストのリピーター化を促進し、地域活性化を図る。			
		成果・課題	(成果) ・J2に属している中四国のクラブチームや関係自治体と連携の上「PRIDE OF 中四国」を実施し、アウェイサポーターの誘客を図るなど、中四国関係県との交流を深めた。 ・2020年東京オリンピック・パラリンピック等の事前キャンプの誘致に向け、関係市と連携し、スポーツコミッション(2団体)の設立や活動を支援した。 ・地域資源を生かした環境スポーツイベントであるSEA TO SUMMITを鏡野町において開催し、地域の魅力を発信することで地域の活性化を図った。 (課題) ・2020年東京オリンピック・パラリンピック等の事前キャンプのさらなる誘致に向けて、市町村が中心的役割を担うスポーツコミッションの設立を働きかけていく必要がある。	評価	H25年度	4.0
					H26年度	4.0
					H27年度	4.0
					H28年度	4.0
					H29年度	4.0

4 総合評価

総合評価	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0